

さんさん、きらきら 第8号

光り、輝く、チーム南陽小 ～考えよう、語り合おう～

令和4年6月10日
長崎市立南陽小学校
学校だより
校長 寺田 成広

水泳指導の準備が整いました

3日(金)に、4校時は5年生、6校時は6年生、そして放課後に教職員によってプールを清掃しました。1年弱放っておいたプールは、汚れや水の濁りがひどい状態でしたが、すっかりきれいになりました。5年生、6年生ともに、学校のためにと奉仕する気持ちや、高学年としての責任感が表れた働きぶりだったようです。嬉しいことです。おかげで、来週から始まる水泳の学習が、気持ちよく進められます。



英語集会を開きました

6日(火)には、今年度初の英語集会を開きました。

この集会の目的は、「集会を通じて英語に親しんだり、外国文化への興味を高めたりする」ことです。全学年の子どもたちが参加するので、英語への関わり方の深さや話す力は様々ですが、どの学年にとっても楽しみながら英語に触れる機会となるよう工夫しています。

今回は、学年別のあいさつに始まって、英語によるスリーヒントでどの先生のことを言っているかを当てるクイズ、英語の歌などが組まれていました。集会委員会の子どもたちを中心に、英語専科の森山教諭、ALT エルのサポートによって、楽しそうに英語を話したり、聞いたりしていました。



年間3回実施し、第2回は12月6日、第3回は2月14日(どちらも火曜日 14:10～14:25)に予定しています。ご都合が合えば、集会時の子どもたちの姿をご参観ください。

HP:[英語集会 | 長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](https://nagasaki-city.ed.jp)

いっちゃんコンサート

8日の午後には、いっちゃん(市原隆靖氏)をお迎えして、コンサートを開催しました。

内容はネタバレにならないようにここには書きませんが、演奏、歌、トークのどれもがすばらしく、かつ楽しく、子どもたちは大満足のようでした。詳しくは、子どもさんにお尋ねください。

「大好きって、コンサートででてきたの?」と切り出してみるのをおすすめです。

本校の目指す子ども像について

以下の三項目が、本校の目指す子ども像です。

- 「こと(事)」 課題を自分事としてとらえ、自分のよさを生かしながら粘り強く解決に取り組む子ども
 - 「たん(胆)」 心身の安全・健康を意識し、生活を充実させるために自身を鍛える子ども
 - 「ひと(人)」 社会の一員であることを自覚し、よりよい社会との関わり方を身につけようとする子ども
- これらを考える上で大切にしたいのが、「人が生きていく中で必ず関わりをもつ事象に対して、どう向き合うか(事象への構え)」を織り込むということです。

「事」を目の前にしたときに「自分事」として関わる子どもであってほしい。自分の心や命、体、生活に、臆せず、動じず、気力を高めて関わってほしい。(胆力)人が構成している社会に、自分もその一人としてよりよく関わっていかうとしてほしい。子どもたちの今や将来の暮らしが、ウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に満たされた状態)となるために必要な要素だと考えています。